

作成日 2026 年 1 月 8 日  
(最終更新日 2026 年 4 月 23 日)

## 「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号：受付-45840

課題名：学校歯科検診データを用いた成長期における不正咬合に関する横断研究

### 1. 研究の対象

1996 年～2004 年に宮城教育大学附属小学校・中学校で学校歯科検診を受けた方  
1997 年～2004 年に仙台市立加茂小学校で学校歯科検診を受けた方  
1997 年～2000 年に宮城工業高等専門学校で学校歯科検診を受けた方

### 2. 研究期間

2026 年 3 月 (研究実施許可日) ～2028 年 3 月

### 3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当機関で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日：2026 年 3 月 15 日

提供開始予定日：2026 年 3 月 15 日

### 4. 研究目的

この研究の目的は、日本人の子どもから思春期までの成長の中で、かみ合わせ（不正咬合）がどのように変化していくのかを明らかにすることです。

具体的には、次の 3 つの点を調べます。

1. 成長にともなう、かみ合わせの変化を調べること  
子どもの成長段階ごとに、出っ歯や受け口、深いかみ合わせといった、さまざまな不正咬合がどのくらいの割合で見られるのか、また時間とともにどのように変わるのかを明らかにします。
2. 不正咬合が「組み合わさって増えていく過程」を調べること  
最初は 1 つだけだった不正咬合（たとえば受け口）が、成長とともに  
・ 顔の左右差  
・ かみ合わせの深さの異常  
など、別の問題を同時に持つようになることがあります。  
この研究では、そうした不正咬合が複数重なっていく頻度や、その原因となりやすい要因を調べます。
3. 男女による違いを調べること  
男子と女子で、不正咬合が現れやすい時期、増え方や減り方、複数の不正咬合が重なるパターンに違いがあるかを調べます。  
その結果を、性別に応じた成長期のかみ合わせ管理を考えるための基礎資料とします。

### 5. 研究方法

この研究では、過去に行われた学校歯科検診の記録を使って、子どもから思春期にかけての「かみ合わせ」の変化を調べます。新たに検査や診察を行うことはありません。

#### 【研究の進め方】

- 1996年から2004年にかけて実施された、小学校・中学校・高等専門学校の学校歯科検診データを使用します。
- 各年度の検診を受けた児童・生徒を、それぞれ独立した集団として扱い、年齢（学年）や性別ごとに分析します。
- 同じ人が別の年度に含まれている可能性はありますが、個人を特定できる情報がないため、同一人物を追跡することはできません。
- そのため、「同じ人を長期間追いかける研究」ではなく、各年の状態を比較する方法で解析を行います。

#### 【調べる内容（評価項目）】

歯科検診の記録をもとに、次のようなかみ合わせの状態を調べます。

- 前後のかみ合わせ  
出っ歯、受け口、上下の歯の前後関係 など
- 上下のかみ合わせ  
かみ合わせが深い・浅い、前歯がかみ合わない状態 など
- 左右のバランス  
顔の左右差、片側だけのかみ合わせ異常 など
- あごの症状  
口を開け閉めしたときの音の有無 など

#### 【解析の流れ】

1. 年齢（学年）や性別ごとに、かみ合わせの状態の割合を整理します
2. 成長にともなって、かみ合わせの問題が増えるのか・減るのかを調べます
3. ある不正咬合を持つ人が、他の問題も同時に持っている割合を調べます
4. 年齢や性別などを考慮し、どのような要因が複数の不正咬合につながりやすいかを統計的に解析します

#### 6. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究で使用するのは、過去の学校歯科検診で記録された情報のみです。

例：学年、性別、かみ合わせの状態、顎関節の状態

#### 7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

#### 8. 研究組織

本学単独研究

#### 9. 利益相反（企業等との利害関係）について

当機関では、研究責任者のグループが公正性を保つことを目的に、情報公開文書において企業等との利害関係の開示を行っています。

使用する研究費は運営費交付金です。

外部との経済的な利害関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

## 10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

当機関における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東北大学大学院歯学研究科  
顎口腔矯正学分野・成田 昂平  
住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 4-1  
連絡先：022-717-8374  
kohei.narita.a2@tohoku.ac.jp

歯学研究科の研究責任者：東北大学大学院歯学研究科

顎口腔矯正学分野・金高 弘恭  
住所：宮城県仙台市青葉区星陵町 4-1  
連絡先：022-717-8374  
hiroyasu.kanetaka.e6@tohoku.ac.jp